

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7年 3月30日

事業所名ハービー & マックローリン・陽だまり介護セン 保護者等数(児童数)5 回収数5 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					音楽室を別途設けて部屋を使い分けるなど、十分なスペースの確保に努めております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5					心理学博士取得者1、心理学修士取得者4など、高い専門性をもったスタッフを確保してきており、また、非常勤講師として常勤スタッフのカバーしきれない専門分野のエキスパートの招聘にも力をいれているところでございます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					多様な障害特性をもった利用者全員に最適化された構造化は難しいところがありますが、全ての利用者の皆様が快適に過ごしていただけるよう運用しているところでございます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					生活空間については、個別指導の空間とは、できる限り分けるなど、配慮をしているところでございます。
適切	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					子どものアセスメントについては、該当児童の状況に応じたアセスメントツールを利用しているところでございます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					通所を希望される児童について、保護者の方の希望を聞き取りながら支援計画を作成しているところであり、これらの項目はガイドラインにも沿ったものになるよう留意しながら作成にあたっているところでござい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
な 支 援 の 提 供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					支援発達計画に沿った支援が行われると考えますが、さらに運営に留意しているところがございます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5					活動プログラムは利用頂いております児童の発達の様子に応じて適時見直しを行っております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5					年間行事の中で施設外での活動では、障害のない子どもと活動する機会を設けられるよう、誠意努力を重ねてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					重要事項説明書等、説明資料を用意の上、できる限りのご説明に努めているところでございます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					児童発達支援計画の作成と保護者からの同意の取得については、適切に行われるよう努めているところでございます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5					外部の専門家によるカウンセリングなど、利用児童に加え保護者の方にも参加いただけるプログラムを用意しているところでございます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5					当事業所をご利用頂いております児童の保護者の皆様とはできるかぎり子どもの発達の状況や課題について共有を図っております。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					外部の児童精神科医師の紹介、利用可能なその他のサービスとの組み合わせなど、可能な対応を考えて取り組んでいるところでございます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5					父母会などの活動については年間のイベントへの参加を通じて支援を行っていきたいと考えております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5					記録するとともに、原因や、対策も考え出来る限り迅速に保護者様、状況によっては関係機関にも周知するよう努めています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					個々に合わせて情報伝達方法を配慮しながら行っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5					定期的な会報の発行などは特にありませんが、行事予定などは都度配布するようにしております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5					書類関係、写真画像等、個人情報に関わるものは丁寧かつ安全に管理しています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5					社内設置の委員会を中心に、マニュアルの策定、各事業所ごとに研修、周知を行っています。保護者様へも機会を捉えて周知を行って参ります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5					避難訓練の実施は行ってまいります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5					アンケートの結果を踏まえ、より良いサービスの実現に努力してまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5					アンケートの結果を踏まえ、より良いサービスの実現に努力してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 3月30日

事業所名 ハービー&マックローリン・陽だまり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成 している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について 確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支 援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている	○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事 業所、発達障害者支援センター等の専門機関 と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
非常時等の対応	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。